

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成20年10月16日 (2008.10.16)

【公開番号】特開2007-116763(P2007-116763A)

【公開日】平成19年5月10日 (2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-302580(P2005-302580)

【国際特許分類】

H 0 2 K 23/58 (2006.01)

H 0 2 K 5/10 (2006.01)

H 0 2 K 5/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 23/58 Z

H 0 2 K 5/10 A

H 0 2 K 5/10 Z

H 0 2 K 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年8月28日 (2008.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、ハウジング内に配置された回転軸と、回転軸に固定され且つ回転軸と一体に回転する円筒状のコイル体と、コイル体の内周側に配置されたマグネット及びマグネットホルダと、ハウジングのボトム側に配置され回転軸のボトム側端を回転自在に保持するボトム側軸受けと、ハウジングのヘッド側に配置され回転軸のヘッド側端を回転自在に保持するヘッド側軸受けとを備え、ハウジングのボトムにはボトム面の中央部を外側から内側に凹ませてハウジング内部に向けて突設し、マグネットホルダの内周側が嵌合する被嵌合部が設けてあり、マグネットホルダはハウジングボトムの被嵌合部に嵌合すると共にボトム側軸受けを係止していることを特徴とするコアレスモータ。

【請求項 2】

ハウジングボトムの被嵌合部にはハウジングの外周が凹んだ凹部をキャップで塞いでであることを特徴とする請求項 1 に記載のコアレスモータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 削除

【補正の内容】